



新入生セミナー (コミュニティデザイン学科1年生2020年度前期)

Home ▶ コミュニティデザイン学科 ▶ 2020コミュ新セミ

編集モードの開始

この授業は、このままmoodleを使って進めていきます。
C-Learningを使う予定はありません。



ニュースフォーラム



3回目までの新入生セミナーについて



ガイダンスの重要事項

第1回新入生セミナー(4月20日)



第1回資料

第2回新入生セミナー(4月27日)

担当教員(中村、原田)から：前回の資料1と今回の資料2で、科目の履修やカリキュラムについての説明が一区切りとなります。しかし、残念ながら昨日の時点(4月27日)におきまして、いずれも必修の「地域コミュニケーション演習」と「地域デザイン訪問」について、若干名の未履修者がいます。また、たとえば地域デザイン実務Ⅰと地域コミュニケーション演習は、どちらかではなく、両方とも二つ別々に履修するなど要注意です。

「一人も取り残さない」という宇大の方針は、「筆頭学部筆頭学科」であるコミュニティ学科1年生のみなさんにこそ、引っ張って行ってほしいのです。既に昨日メール配信しておりますが、本日午前9時以降、履修科目の確認（追加や修正、選択科目の場合は削除など）ができます。

上記科目以外にも、みなさん一人一人最後のチェックをお願いします。そして、本日をもって資料1、資料2の内容理解をマスターし、次回以降の新入生セミナーにつなげていきましょう。



第2回資料

第3回新入生セミナー(5月12日)

担当教員(中村、原田)から：連休明け、今回から新入生セミナーも週1回のコンスタントなペースで進んでいきます。これまでみなさんは履修登録やカリキュラムの体系的な把握など、学ぶためのプラットフォーム(基盤、土台)をしっかり作ることができました。心配は無用です。一回一回を大切に、どうか自信を持って、そしてこの新入生セミナーではクラスルームの役割もありますので、ぜひ肩の力を抜いてリラックスして臨んでください。

本日からいよいよ3回にわたって、キャリア「デザイン」について学びます。今回はこの時間内での課題提出もありますが、提出の仕方などは、指示に従って対応すれば大丈夫ですのでぜひ楽しくやってみましょう。今日は提出課題はありません。ゆったりとした気持ちで資料に目を通してください。みなさんはこれからの4年間でコミュニティ「デザイン」のプロを目指すのですから、キャリアについてのデザインを構想することはとても大切です、できるはずですよ。ぜひこれからの学びを後押しするような、オリジナルな自分だけのキャリアを頭の中で形成していきましょう。



第3回資料

第4回新入生セミナー (5月19日)



キャリアデザインノート使用箇所 (2週分)



5月19日の作業①



5月19日の作業②

第5回新入生セミナー (5月26日)

- ①「番号対応表」を見て、自分が読むべきレポート番号を確認してください。
- ②番号対応表にある番号のレポート集を読んで、他の人の考え方を参考にしてください。
学籍番号別グループ分けと、レポート集のグループ分けは違っていますので、読むレポート集の中に自分のものがある場合とそうでない場合があります。
- ③他の人の考え方を参考にしながら、「5月26日の作業①」に取り組んでください。
- ④作業①は、授業時間中(本日10:10まで)に提出してください。
- ⑤これまで考えてきたことをふまえて、「5月26日の作業②」に取り組んでください。

⑥作業②の提出期限は、6月1日24:00です。

キャリアデザインシートのワークシートは、少なくとも年度末毎に、できれば学期末毎に取り組んで下さい。
そうしておく、就職活動に際しての自己PRや志望動機説明に、スムーズに取り組めるようになります。

 5月26日の作業①

 5月26日の作業② 6/1 24時締切

 uuキャリアナビ登録マニュアル

登録して情報を集めましょう

第6回新入生セミナー（6月2日）

6月2日(火)の新入生セミナーは「学び」について学びます。資料は授業当日までにこのトピック欄に掲載します。

担当教員（中村、原田）から：みなさん、第4回と第5回で遠隔授業における双方向性のやり取り、よくやり抜きましたね。

さて今回、次々回（6月16日）と添付ファイルの「学びハンドブック」を用います（次回は別資料を使って、研究倫理・論文ルールについて学びます）。今日から4回シリーズで、学びとは何か（1回）、研究倫理・論文ルール（1回）、レポートの書き方（2回）についてやっていきます。

今日の対象は「学びハンドブック」の最初から8ページまでです、短いと思うかもしれませんが、ぜひくまなく、かつ思慮深くゆっくり目を通してください。今回は課題の提出はありません。そこには学ぶ上でのヒントがいろいろとあります。しっかりと内容を把握できれば、次回6月9日に行う研究倫理・論文ルールについての理解が格段と深まります。

ぜひ、毎回の授業に集中してください。先を急ぐ必要はまったくありません。みなさんは既にそうしたスタンスを確立できているはずですよ。

 2020年度版大学での学びハンドブック

第7回新入生セミナー（6月9日）

担当教員（中村、原田）から：みなさん、1日のうちで朝晩の冷やとした空気、昼間の蒸し暑さ、それでも気持ちの良い時折の涼風、といった具合に梅雨入りと夏の到来を同時に感じさせるような日々が続いています。

さて、本日は二つの資料をじっくり読みましょう。レポートや論文を書く上での「心構え論」とでも言うのでしょうか。あるいは論文作成にあたっての「自由と規律」とでも言えればいいのでしょうか。

「10の重要ルール」(資料01)では、確かに厳しい指摘の数々が提示されています。しかし、ネット時代だからこそ、コピーや剽窃から自分を厳しく律しなければいけないという意味でも、また「ネット時代=情報過多・玉石混交の多難な時代」という意味でも、ぜひ肝に銘じてほしい指摘ばかりです。

「調べる技術・書く技術」(資料02)についても同様です。コロナ禍の今は、現地訪問や直接の聞き取りが困難な状況ではありますが、「まずは動いてみる」という意味では、たとえば近隣を自分の足を使って観察したり、情報を検索して大学図書館から関係の書籍を直接借りたりといったことも含まれます。「まず動いてみる」ことに醍醐味があるのです。そう考えると今の状況でもできることはいろいろあるはずです。

二つの資料をじっくり読み込み、内容を把握してください。提出の課題はありません。



200609第7回資料01



200609第7回資料02

第8回新入生セミナー 6月16日

6月18日(木)18:00~18:10 moodleにアクセスできなくなります。注意してください。

資料「レポートの書き方①」(第6回で読んだ「大学の学びハンドブック」の一部抜粋です)を読んで、「第8回課題」の指示に従って授業時間中に課題を提出して下さい。

そして、次回に向けて「第8回宿題」を、期限までに提出して下さい。



レポートの書き方①



第8回課題

このレポートは、第9回で使用しますので、未提出者も作成して保管しておいて下さい。

「レポートの書き方①」を読んで、以下のレポート課題で、A4で2ページ以内のレポートを作成して、授業時間中(10:10まで)に提出して下さい。

「まず、就職活動や受験の面接、アルバイト、サークルやプロジェクトへの応募等、自分のPRが必要な場面を設定してください。それを序論で説明した上で、なぜ自分がそれにふさわしいか、そこで役に立つかを、根拠を示しながら説明して下さい。」



第8回宿題

課題は添付ファイルで説明されています。

ファイル提出ではなく、moodleに直接入力して下さい。
締切は6月22日(月)17:00です。

第9回新入生セミナー 6月23日

今回も授業中の課題提出が必要です。

下にアップされている第9回資料を読んで、前回作成した自分のレポートについて「良かったところ」と「改善すべきところ」を列挙し、前回のレポートに箇条書きで書き加えて提出してください。



第9回資料



第9回新入生セミナー 課題提出先

第10回新入生セミナー(6月30日)

担当教員(中村、原田)から: みなさん、6月最後の新入生セミナーです。本日の授業に積極的に向き合って、6月を良い形で締めくくりたいですね。

今回は授業中の課題提出はありません。しかし、次回7月7日までやっておくことと、次回の授業進行(授業時間内の活字での双方向的なやり取り)について大切なお知らせがあります。以下に説明しますので、少し長くなりますが、みなさんで理解を共有しましょう。

今回のコロナ禍で考えが決定的に変わりました。それは、これまでは私自身の中で研究と教育とは別々のものだという無意識な線引きがあったのですが、それが、「教育の場面で自分の剥き出しの研究の部分をみなさんにぶつける機会を持つ」という強い思いに変わったのです。ファイルUUnow(19年4月)に目を通してください。

その上で、ぜひ中村未定稿01と中村未定稿02を1週間かけて熟読してほしいのです。どうか「小難しい理屈をこねくり回している」と受け止めないでください。事象に対して本気で迫るなら、社会科学においても専門用語の行使は避けて通れないからです。

そして、次回(7月7日)授業の課題である、

「2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきか」

というシンプルな問いに対する答えを考えてほしいのです。その問いに対する自分なりの回答(私の考えと違って全く構いません)を、5行(ワードでいえば1行40字×5=200字)程度で書いてください。あくまでも上記原稿二つを読み込んだ上で記載してください。課題提出の場所は「トピック11」(授業当日は「第11回新入生セミナー(7月7日)」)となります。

具体的には次回(7月7日)の授業時間内の展開は以下のように進めていきます(時間はあくまでも目安)。

・次回授業開始前までに、上記問いへの自分なりの回答文(200字程度)一つ(未定稿は二つありますが、みなさんが作成する回答文は一つです)をワードに作成しておく。

<7月7日の新入生セミナーの進め方>

・8:40 授業開始後、教員からの合図(当日のトピック欄に記載します)を待って、文章校正(見直し)の時間を10分程度取ります。そして、ファイル提出ではなく、Moodleに直接入力(実際にはコピー・ペースト)して提出してください。その際に注意があります。後で教員が集約する作業効率のため、あらかじめ作成する文章の最初に「・」を付けてください。

・8:55-9:10 休憩時間となります。提出後は10数分間(予定では15分間)の休憩とします。その間に教員はみなさんからもらった回答文を匿名扱いで集約します。この作業が終わり次第、PDFファイルで7月7日のトピック欄に「東京五輪受講生意見集約」として掲載します。私からの新しいメッセージ見るには更新ボタン(パソコン画面上部の右回りの矢印の形をしたところ)をクリックしてください。

・9:20-9:50 この30分間の間にみなさんは他の受講生からの回答文を熟読します。ここも大切な時間です。分量はA4版用紙でいえば6ページ程度になるはずですが、その上で、自分の考えについて再度1-2行程度の文章を作成して、やはり最初に「・」を付けてMoodleに直接入力して提出してください。考えが変わっても変わらなくてもいいです。ただ、なぜそのように考えるのか、他の受講生の回答文をすべて読んで上で文章を作成してください。

・9:50-10:00 2回目の休憩時間となります。その間、教員は集約作業を行い、10時10分までにみなさんにそれをお返しすることを目指します。10時10分の終了までは授業から離れないようお願いいたします。

以上のような進行となります。とにかくやってみましょう!

まだあります。課題提出はありませんが、本日(6月30日)の授業で別の二つの資料、とちぎの姿と、この3月に卒業した先輩方の1期生リフレクションをリラックスしてゆっくり読んでください。

前者の中にある、

<http://soonhome.jp/votematch/2019sanin/votematch.php>

にアクセスして、“すまっち”をやってみましょう(気軽にできます)。盛りだくさんとなりますが、ミニ解説も読んでおいてくださいね。

後者について、教員世代から見て「悩み多き=実り多き」と断言できます。とくにリフレクションについては、あくまでもこの授業時間内のみの取り扱いということで、厳守をお願いします。

第12回と13回の説明資料をアップしてあります。事前の準備作業が必要なので、早めに読んでください。

-  UUnow(19年4月)
-  中村未定稿01
-  中村未定稿02
-  とちぎの姿
-  1期生リフレクション

第11回新入生セミナー(7月7日)

7月7日授業時間内課題提出場所

- ・授業開始です。
- ・提出する文章を再度見直し推敲して、8時50分までに第1回目の課題を提出してください。
- ・時間は10分間ありますので、慌てずにやりましょう。
- ・第1回目の課題提出を締め切りました。9時10分まで休憩してください。この間、英気をやしなってください。
- ・集約作業に手間取りました。この後すぐファイルを掲載します。9時50分までに2回目の課題を提出してください。
- ・第2回目の課題提出を締め切りました。集約作業に入ります。
- ・授業終了時間が過ぎました。今、2回目の集約ファイルを掲載しました。本日中にこのファイルにも目を通しておいてくださるよう。原稿執筆時は「完全な形」で突き進むと思われましたが、「簡素な形」に変容しました。中止、延期期間の変更、予定通りの開催、無観客での開催、縮小・縮減した形での開催、コロナ収束を条件とした開催などなど、みなさんの考えも様々であることがわかりました。私としては、直近の読売新聞や共同通信の世論調査で、中止すべきと開催すべきがともに40数パーセントで拮抗しているという記事を見ただけで、みなさんの中で中止すべきが多かったことに、意外な思いと新たな発見がありました。このまさに現在進行形の課題を今後も考え続けましょう。(課題を提出したのに作業の途上で、飛ばしてしまったものがあつたかもしれません。その際は申し訳ありませんがご了解を)。



第1回目 2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきか



第2回目 2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきか



第1回目新セミ意見集約



第2回目新セミ意見集約

第12回新入生セミナー (7月14日)

zoomでオンラインミーティングを行います。

詳細は、「第12,13回説明資料」を読んでください。

事前の準備作業が必要ですので、説明資料を早めに読んでおいてください。



第12,13回説明資料

第13回新入生セミナー (7月21日)

オンラインで研究室訪問（オフィスアワー訪問）を行います。

詳細は、「第12, 13回説明資料」を読んでください。



第12, 13回説明資料

第14回新入生セミナー（7月28日）

担当教員（中村、原田）から：いよいよ新入生セミナーも終盤となります。みなさんは最後の頑張りどころまで来ました！最終回は後期の必修科目「地域デザイン訪問」についてです。9月30日の地域デザイン訪問に参加する条件として、事前レポートの提出が必須となっています。課題の内容については、以下のとおりです。

「塩谷広域行政組合の「環境施設整備ニュースレター」（前半・後半のファイル）を読んで、わからない点や担当者に質問したい点について、全部で五つ書きなさい。一つの中に複数のわからない点や質問したい点を記載して構いません。なお当該ニュースレターの号数と発行年月を最初に記載してください。全体で1ページにおさめてください。」

というものです。

課題提出の場所は次のトピック欄にあります。ワードファイル上部にある説明書きはそのまま残しておいてください。レポート作成に必要な二つの資料は以下に掲載されています。また、9月30日当日のスケジュール等につきまして、とても大切な内容が書かれています。夏休み中によく読んで、当日の準備、よろしくお願ひします。

なお、地域デザイン訪問についての今後の連絡につきましては、c-learning◇地域デザイン訪問◇コミュニティデザイン（講義コード963983）を確認するようにしてください。



地域デザイン訪問事前レポート



前半資料環境施設整備ニュースレター



後半資料環境施設整備ニュースレター



重要地域デザイン訪問9月30日スケジュール

8月4日(火)締切地域デザイン訪問事前レポート



地域デザイン訪問（2020年9月30日）事前レポート提出場所

ナビゲーション



Home

■ ダッシュボード

サイトページ

現在のコース

2020コミュ新セミ

参加者

一般

第1回新入生セミナー(4月20日)

第2回新入生セミナー(4月27日)

第3回新入生セミナー(5月12日)

第4回新入生セミナー (5月19日)

第5回新入生セミナー (5月26日)

第6回新入生セミナー (6月2日)

第7回新入生セミナー (6月9日)

第8回新入生セミナー 6月16日

第9回新入生セミナー 6月23日

第10回新入生セミナー(6月30日)

第11回新入生セミナー(7月7日)

第12回新入生セミナー (7月14日)

第13回新入生セミナー (7月21日)

第14回新入生セミナー (7月28日)

8月4日(火)締切地域デザイン訪問事前レポート

マイコース

管理



コース管理

編集モードの開始

設定を編集する

ユーザ

フィルタ

レポート

評定

バックアップ

リストア

インポート

リセット

問題バンク

ルールを切り替える ...

サイト管理

フォーラムを検索する



検索オプション

最新ニュース



新しいトピックを追加する...

重要地域デザイン訪問9月30日スケジュール

07月 24日 12:33 中村 祐司

後半資料環境施設整備ニュースレター

07月 24日 12:32 中村 祐司

前半資料環境施設整備ニュースレター

07月 24日 12:32 中村 祐司

地域デザイン訪問事前レポート

07月 24日 12:31 中村 祐司

第12回、13回について

07月 07日 14:40 原田 淳

過去のトピック ...

直近イベント



直近のイベントはありません。

カレンダーへ移動する...

新しいイベント...

最近の活動



2020年 08月 08日(土曜日) 17:11 以来の活動

最近の活動詳細 ...

新しい活動はありません。

このページのMoodle Docs

あなたは 中村 祐司 としてログインしています (ログアウト)

Home